

「生きる」を支える

～あなた、そしてあなたの大切な人の命を守るためにできること～

「自殺」という言葉から
目をそらしたことはありませんか？

『自分自身が死にたくなったら…』

『死んでしまいたいと大切な人が口にしたら…』

『死にたいと思う人のサインに気づくには…』

『大切な人を失った人にどう接したら…』

自殺は、決して他人事ではありません。

「予防できる死」は、
今あなたの目の前にあるかもしれません。

いのちを守る活動を続けている講師の話を
一緒に聴いてみませんか？

自殺は、防ぐことができるのです。

平成23年 **2/17(木)** **入場無料**

参加者数把握のため、事前に
申し込みをお願いします。

※申し込み方法は裏面を参照してください。

14:00～16:00 (13:30受付開始)

鹿島市生涯学習センター エイブル
エイブルホール

鹿島市大字納富分2700-1(鹿島市役所 東側)

定員
300名
程度

講演 『生きる』を支える～自殺の現状と遺族支援～

講師 NPO法人 自死遺族支援ネットワークRe 代表



山口 和浩氏

1981年長崎県生まれ。中学2年生の時に父親を自殺で亡くす。大学時代に遺児の仲間たちと手記「自殺って言えなかった。」を発表。以後実名と顔を公表して自殺対策に関わる。児童福祉施設で指導員として働くかたわら、NPO法人「自死遺族支援ネットワーク Re」を設立、遺族が語り合う場を作っている。現在は横浜で精神医療機関のスタッフを務める。
著書:「自殺って言えなかった。」「自死遺族の現状と支援」等

【主催】社会福祉法人佐賀いのちの電話・鹿島市